

2年間の主な活動

令和5年

- 8月 国道473号にアクセスする県道の拡幅を県に要望
- 9月 浜松湖北高校佐久間分校の生徒たちと意見交換
一般質問に登壇
- 10月 県道袋井小笠線の歩道整備を県に要望
掛川浜岡御前崎バイパスの整備を県に要望
ヤマハ発動機(株)にて脱炭素の取組について研修
- 11月 六ヶ所村核燃料再処理工場の現状等を視察
国道473号バイパスの整備を県に要望
富士市内にて県内林業・木材産業の視察研修
- 12月 熱海市伊豆山土石流現場等の視察
県立総合病院きこえとことばのセンターにて難聴対策について研修

令和6年

- 2月 高知県等の地震・津波対策を視察研修
- 4月 静岡流通センターにて魚介類等の流通について研修
(株)BANDAI SPIRITS (バンダイスピリッツ) にて玩具業界の現状を研修
- 6月 一般質問に登壇
- 7月 国道473号にアクセスする県道の拡幅を県に要望
- 8月 県庁での「ふれあい親子県議会教室」に参加
浜松ホトニクス中央研究所にて光技術の研修
- 9月 山梨県と神奈川県のリニア中央新幹線工事現場を視察
北海道にて北方領土返還運動について研修
- 10月 掛川浜岡御前崎バイパスの整備を県に要望
- 11月 チャイナエアラインを訪問し静岡ー台北定期便の復航について要望
静岡農業高校の生徒たちと意見交換

令和7年

- 1月 デジタル庁でウェルビーイングについて研修
県立静岡がんセンターの現状視察
森の力再生事業で整備した静岡市内の森林を視察
- 2月 ユニバーサルツーリズムについて先進地の兵庫県で視察研修
- 3月 一般質問に登壇
消防団協力事業所の事業税を控除する条例を提案者の一人として
2月定例会に上程
ユニバーサルツーリズム推進条例に関する報告書を幹事長に提出
広域避難計画の実効性の向上に関する提言書を知事に提出
国道473号金谷相良道路開通式・通り初め式に出席
- 4月 県農林技術研究所茶業研究センター本館開所式に出席



高速長尺先進ボーリング



羅臼国後展望塔から羅臼港と国後島を望む



チャイナエアラインにて



静岡農業の生徒たちと



静岡市の山林視察

料金後納

タウンプラス

繋 県政報告 250110 vol.10

つなぐ

令和7年5月 静岡県議会議員 赤堀しんご

赤堀慎吾です。県議会議員として活動を始め2年になりました。この2年間、菊川市に軸足を置きながら菊川市民と県政を繋ぎたいという思いで活動してまいりました。2年間の主な活動を市民の皆様へ報告させていただきます。赤堀しんごの県政報告「繋(つなぐ)vol.10」です。

令和7年度当初予算は鈴木知事が初めて調製した予算です。「幸福度日本一の静岡県」の実現に向け、「伊豆半島をはじめとした防災の推進」、「新たな産業活力の創造」、「再生可能エネルギー等の導入促進」、「次世代モビリティの導入促進」、「地域交通のリ・デザイン」、「こども・子育て支援の充実」、「医療・福祉人材の確保」、「外国人の受入と多文化共生社会の構築」の8分野を重点取組とした1兆3,723億円の予算で、前年度に比べ563億円増額し過去最大規模となりました。

静岡茶統一ブランドの推進や静岡茶海外戦略の展開などお茶関連事業に、前年度に比べ倍増となる4億2,653万円が計上されました。また、赤土地内に整備中の食肉センター再編整備事業に68億9,300万円が計上され、令和8年度の供用開始に向け本体施設の整備を行います。なお、倉沢地内に整備していた農林技術研究所茶業研究センター本館は工事が完成し、4月8日に鈴木知事を迎え開所式が行われました。



完成した茶業研究センター本館

また、当初予算に合わせ「中期財政計画」が公表されました。10年間で県債残高1,000億円削減などの目標値が設定されており、2028年度までの4年間で「改革強化期間」と位置づけ、集中的に歳出と歳入の見直しを進めるとしています。財政の健全化は重要な課題ではありますが、県債の発行を抑えるあまり県民生活の安全を脅かしたり、県民に不便を強いるような改革にならないように、一般質問で強く要望しました。

赤堀慎吾事務所

〒439-0006 菊川市堀之内110-1 コーポ石川201

TEL 0537-28-7318 e-mail shingo873945@outlook.jp



私の主張

常任委員会での審査、3回の一般質問で述べた意見や要望、その他の主な活動です。

奨学金返還に支援決定

人口減少対策として、若者の本県での活躍を後押しするとともに、県内事業所の人材確保を図るため、県内に就職した学生の奨学金の返還を支援する制度の創設を求める。(令和5年9月一般質問)

➡令和7年度予算に奨学金返還支援事業として2,000万円が計上されました。返還額の2分の1(上限12万円)を県、市町及び企業が3分の1ずつ支援する制度を令和7年度中に開始できるよう調整しています。



令和7年2月定例会一般質問

黒沢川が特定都市河川に

平川地区の水害対策として、一級河川菊川水系黒沢川の特定都市河川の指定も視野に入れ取り組んでいきたい。(令和5年9月一般質問)

※特定都市河川に指定されると、河道整備の加速や雨水の流出抑制対策が義務付けられ、流域における貯留・浸透機能の向上を図り、水害に強いまちづくりを推進できます。

➡令和7年3月31日、国は黒沢川を特定都市河川に指定しました。県は指定に向けて令和6年12月議会で関係条例を制定しています。

静岡茶統一ブランド策定に始動

輸出においては県内の各産地のブランドでなく、静岡県産のお茶は「静岡茶」に統一したほうが扱いやすいという声を聞く。「静岡茶」というブランドに統一した方がよい。(令和6年6月一般質問)

➡令和7年度予算に、静岡茶統一ブランドの戦略展開のために4,000万円が計上されました。

ユニバーサルツーリズム推進条例の検討

ユニバーサルツーリズムとは、高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行のことです。障がい等を理由に旅行をあきらめることなく、行きたい場所に行って安心して楽しめる環境を整えようという取組です。

県議会自民改革会議では、この取組を県下で推進するために条例を制定することが望ましいかを検討するプロジェクトチームを作りました。私もメンバーとして「ユニバーサルツーリズム推進条例」の制定が望ましいという報告書を3月17日に幹事長に提出し、条例制定に一步近づきました。

消防団協力事業所の事業税を控除する条例の継続

自然災害の激甚化・頻発化により消防団の重要性がますます高まっているにもかかわらず、団員数は減少を続けています。企業にお勤めの方が入団しやすく、活動しやすい環境づくりのため、「消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例



危機管理・くらし環境委員会

に関する条例」が令和7年3月31日で期限を迎えるため、期限延長の条例改正案を提案者の一人として常任委員会で提案理由の説明を行い、可決されました。(令和7年2月定例会)

広域避難計画の実効性の向上に関する提言書を提出

県議会自民改革会議は3月17日、鈴木知事に「原子力災害に関する広域避難計画の実効性の向上を図るための提言書」を提出しました。県と原子力災害対策重点区域の11市町は原子力災害が発生した場合に備え広域避難計画を策定していますが、避難方法、避難路の確保、降雪対策など実効性の向上が求められているにもかかわらず、なかなか課題の解決が進んでいないのが現状です。県民生活の安全のため、県庁内の体制を強化して早急に実効性の向上を図るよう提言しました。私も原子力災害対策重点区域の県議として提言書の作成に加わりました。

なお、提言書の全文は私のホームページに掲載しています。

ふじのくに空き家バンクの廃止

県と市町の二重行政を避けるため、また事業の簡素化を図るためにも、空き家バンクは市町で行い、契約が成立した場合に県が補助金を出せばよいのではないかと。(令和6年危機管理・くらし環境決算特別委員会)

➡「ふじのくに空き家バンク」は令和6年度末をもって廃止し、市町の空き家バンク等に引き継ぐことになりました。

産地交付金の改正

飼料用米については、令和5年産から交付単価の算出方法が見直され、令和6年産からは、国が認める品種以外は支援額が段階的に引き下げられることとなった。県として飼料米や小麦の生産を支援すべきではないかと。(令和5年9月一般質問)

➡令和6年度から産地交付金が飼料米及び麦それぞれ10a当たり4,000円交付されることになりました。



中小企業対策協議会にて

リモコン式草刈機の増設

県所有のリモコン式草刈機の貸出は好評であるが、軽トラックに積載できない重量であること、借りられる団体に制約があることなど改善が必要である。(令和6年6月一般質問)

➡リモコン式草刈機が県下で7台追加配備され、袋井土木事務所への配備は合計4台となりました。また、リモコン式草刈機貸出要綱を策定し、一定の要件を満たせばリバーフレンドシップを締結していない団体に対しても貸出しが可能となりました。

これまでの一般質問

QRコードから一般質問の映像をご覧ください。また、私のホームページに質問の全文、答弁内容及び意見・要望を掲載しています。

令和5年9月定例会



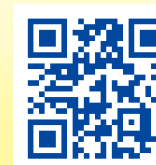
令和6年6月定例会



令和7年2月定例会



赤堀慎吾公式ホームページ



<https://akahori-shingo.com>